

協議事項（２） 三谷地区・大塚地区支線バスの事業継続について

三谷地区支線バス及び大塚地区支線バスにおける、令和５年度以降の事業継続について、次の内容で運行を継続してよいか、協議・承認いただきたい。

路線名	三谷地区支線バス
運行期間	令和５年度から令和７年度までの３年間の運行継続
運行事業者	令和５年１月頃 公募型プロポーザルにより選定予定
継続理由	<p>令和３年１月の運行開始から、利用者数が順調に増加している。三谷温泉の利用が多く、また、停留所移設に伴い買い物施設の利用も増加し、着実に地域に根付いてきている。</p> <p>本市東側地区においては路線バスの本数が限られていることもあり、他地区の支線バスと接続することで交通ネットワークを形成しており、地域住民にとって欠かせない交通手段となっている。</p> <p>令和４年５月２４日</p> <p>三谷地区公共交通協議会として、令和５年度以降の事業継続及び週４日の運行を要望することを確認。</p>
運賃	<p>１乗車１００円 小学生５０円</p> <p>未就学児・障がい者等１人での乗車が困難な方の介助者１名無料</p>
運行日	週４日（火・木・金・土曜日） ※年末年始（12/30～1/3）運休
運行本数	１日６．５便
接続する公共交通機関	<p>鉄道（JR 東海道線 三河三谷駅）</p> <p>路線バス（三河三谷駅前、三谷温泉、水産高校前）</p>
その他	運行日数を政策的に週３日から週４日へ拡大

三谷地区支線バス「おおしまくるりんバス」運行の事業状況

○利用者数

年度	利用者数	1便あたり利用者数
R2 (1月から)	414	1.8
R3	2,148	2.1
R4 (10月末時点)	1,687	2.9

○イベント等の取組み

回数券割引販売（運行開始前、地域で半額負担） 350冊

出発式（運行開始時）

公民館だよりでの情報発信（毎月）

○運行の改善（停留所の変更・移動）

R4年2月 「ドミー三谷店東」から「ドミー三谷店前」に変更

R4年6月 「スギ薬局三谷北店前」移動

○収支率

令和2年度 31.0%（回数券割引販売分含む）（含まない場合8.7%）

令和3年度 6.7%

※収支率向上を図るため、車両広告事業、停留所広告事業を実施

○満足度

運行開始後及びR3年度に実施した車内アンケートでは、お出かけが便利になった、安心して出かけられるようになった等の意見が多くあった。それを裏付けるように利用者も順調に増加しており、日常利用の新たな移動手段として定着してきていることから、コミュニティバスが運行したことによる満足度は高いと言える。

一方で、運行日の増加や路線の延長を望む意見も多く、さらなる利便性の向上に期待する声も多い。運行日については、令和5年4月から週4日の運行を計画している。

路線名	大塚地区支線バス
運行期間	令和5年度から令和7年度までの3年間の運行継続
運行事業者	令和5年1月頃 公募型プロポーザルにより選定予定
継続理由	<p>令和3年4月の運行開始から、毎月安定した利用者数があり、わずかずつだが利用者は増加傾向にある。また、他地区と比べ小学生以下や介助者の利用が多く、さまざまな方の移動手段として地域に根付いてきている。</p> <p>三河大塚駅の利用が特に多く、地区外への移動需要について、本数が限られる路線バスを補完する役割を果たしている。また、地区内の移動については、買い物施設、病院の利用が多くなっており、生活に密着した地域住民にとって欠かせない交通手段となっている。</p> <p>令和4年5月31日</p> <p>大塚地区公共交通協議会として、令和5年度以降の事業継続及び週4日の運行を要望することを確認。</p>
運賃	<p>1乗車100円 小学生50円</p> <p>未就学児・障がい者等1人での乗車が困難な方の介助者1名無料</p>
運行日	週4日（火・木・金・土曜日） ※年末年始（12/30～1/3）運休
運行本数	1日7便
接続する公共交通機関	<p>鉄道（JR 東海道線 三河大塚駅）</p> <p>路線バス（三河大塚駅、丸山）</p>
その他	運行日数を政策的に週3日から週4日へ拡大

大塚地区支線バス「ひめはるくるりんバス」運行の事業状況

○利用者数

年度	利用者数	1便あたり利用者数
R3	1,527	1.4
R4（10月末時点）	966	1.5

○イベント等の取組み

- 回数券配布（運行開始前、地域で負担） 68冊
- 出発式（運行開始時）
- 出前講座（乗車体験会）
- 公民館だよりでの情報発信（毎月）

○収支率

令和3年度 6.7%（回数券配布分含む）（含まない場合5.6%）

※収支率向上を図るため、車両広告事業、停留所広告事業を実施

○満足度

運行開始後に実施した車内アンケートでは、運行ダイヤやルートについて現状に満足という回答がほとんどであった。バスを利用したきっかけについては、家族・友達からの誘い・ロコミ及び免許返納が多く、日常の移動において利用がされている。また、介助を必要とする方や小学生以下の利用も他地区と比較して多い状況となっており、地域に根付き、欠かすことのできない移動手段としての役割を担っていることから、コミュニティバスが運行していることによる満足度は高いと言える。

利用者も着実に増加傾向で、周知をより進めていくことでさらなる利用者の増加、満足度の向上を目指す。